

北海道建築士

HOKKAIDO KENCHIKUSHI 2024.09.No.325

9月号

目次

防災の日	1
支部事業報告「建築士の日」	2
特集 北海道建築士会 会員作品紹介 2024	4
建築士試験合格者の声	5
西から東から「新ひだかのまち」	6
Coffee Break	7
information	8

URL <https://www.h-ab.com/>

防 災 の 日

災害対応委員会 屋 伸 めぐみ（恵庭支部）



この度松山市土砂災害により被災された皆様ならびにご家族の皆様にご心よりお見舞い申し上げます。皆様の安全と一日も早い復興をお祈り申し上げます。

防災の日は、1923年9月1日に多くの犠牲者を出した関東大震災が発生したことを由来に、毎年9月1日に様々な防災に関する取り組みが行われています。9月1日を中心とした8月30日から9月5日は防災週間、9月全体は防災月間とされています。

昨今の日本では、様々な規模の地震災害や降雨による水害が頻発し、防災を意識しない年はなくなったのではないのでしょうか。

災害発生場所も全国各地であり、だれもが被災者になりうるため、一人ひとりの心構えや備えが必要です。

私の所属する災害対応委員会では、主に被災建築物応急危険度判定士の登録者を増やし、全国で発生する地震災害に迅速に応急危険度判定士を派遣することや、有事の際に円滑に活動できるように制度を一般の方々にも周知する活動を行っています。

年間2回程度、道内の支部にお邪魔して北海道知事認定震災建築物応急危険度判定講習会・机上訓練を開催しているので、参加してくださった方も多いのではないのでしょうか。広報活動としては、北海道住宅フェアへの参加で建築士の皆様のみならず、札幌駅前地下歩行空間や赤レンガテラスを訪れたたくさんの方に応急危険度判定を知っていただくことができました。

防災月間ということで、普段の活動ではない防災・減災に視点を広げてみます。災害対応委員会でも、防災の知見を広げるためにHUG（Hinanzyo Unei Game）を勉強してみよう！と声があがったところでした。

HUGとは、避難所に起こる様々なシチュエーションにどのように対応するか考える避難所運営シミュレーションゲームです。年齢・性別・国籍や抱える

事情が異なる避難者を避難所の体育館や教室内にどれだけ適当に配置できるかを体験しながら学ぶことができます。考慮しなければならないことは避難者の属性だけでなく、報道取材があったり、天候等自然環境の変化や、感染症の拡大等、避難所では様々な出来事が発生します。

実際に今年1月1日の能登半島地震では、年始ということもあり、自宅を空けているご家庭や、逆に来客中のご家庭等、人の移動が多かった状況が推察されます。外出中に自宅が被災し、帰れない状況に陥った方や、訪問先で災害に巻き込まれた方も少なくはないはずです。

いつどこで地震に遭遇するかは予測できません。自宅ですら十分に備えている方でも、外出中に被災する可能性があります。また、通常の備えだけでは足りないような、自然の悪条件が重なることもあります。すべてにおいて完璧な備えは難しいと思われそうですが、“こんなことが起こりえるんだ”と知っておくことは身を守るための選択肢を用意しやすくなるかもしれません。

避難所は自治体で開設・運営することが一般的ですが、地域住民による運営を目指しているところもあります。国や自治体の力だけではなく、地域の力や個人の防災意識によって被害を最小化し、より早い復興を目指すこともできるのではないのでしょうか。

自治体でHUGの一般参加者を募って実施しているところもあるようです。このようなイベントへの参加や、自身が住まう町やそのほかの地域の防災にも目を向けてみてはいかがでしょうか。



住宅フェアのブース



机上訓練の様子

札幌支部

バスツアーが紡ぐ新たな風景

副支部長 川原 昌彦



7月6日(土)、建築士の日記念事業として「景観バスツアー(恵庭・北広島編)」を開催しました。このバスツアーは、一般の方に建築士や建築士会を身近に感じてもらう、会員外の建築士にも会の活動に関心を持ってもらうことを目的に始めました。2011年の豊平区編から始まり毎年札幌の各区を巡り、2022年からは小樽など札幌近郊地域にも範囲を広げています。これは他支部との連携や交流の場となることも目的の一つとしています。

今年の委員会の通年のテーマを「ボーダー」とし、見える境界と見えない境界に着目し様々なレイヤーを意識することで、今までとは異なる街の風景を見出すことを試んでいます。今回のバスツアーでは20名の参加者と共に、縄文時代のカリンバ遺跡、開拓期の島松駅通所や昭和初期の島松軟石倉庫の利活用、小学校の再利用事例、さらには最新のボールパークを訪問しました。参加者が地域や時のボーダーを超えた札幌近郊の多様な魅力を体感できるものとなったと思っています。

今後も、まちあるきやバスツアーなどを通じて、建築と様々な分野を結びつけ、重なり合うレイヤーから新たな街の風景を見出す機会を提供し、そしてさらに他支部との連携を深め、一層彩り豊かな風景を紡ぐ企画を考えてまいります。その際にはご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

十勝支部

2024真夏の夜のビールパーティー

事業委員長 菊川 敬



十勝支部では建築士の日事業としてビールパーティーを7月20日に十勝ガーデンズホテルで開催しました。

この日、帯広では最高気温32度を超える真夏日に恵まれ絶好のイベント開催日となりました。

会場では今年から新体制となった岡田英樹支部長が「ビールがおいしく感じるような暑い日が続いている。短い時間だが楽しんで」との挨拶と乾杯でパーティーを開始しました。会員と賛助会員・関連市民を含めた約200名の参加者が、暑い夏の夜をPOPな音楽とビールとおいしい料理で喉を潤しました。ビールサーバーを3台用意しましたが、行列が絶えずに200リットル以上が消費されました。

パーティーでは商品券が当たる景品抽選会も行われ、サプライズの賞も提供されたことから、大いに会場は盛り上がり、会員・賛助会員などとおおいに交流を深められました。

終宴の挨拶は石原由美子副支部長に締めてもらいました。

来場者には日頃の疲れを癒して、今後の活力の源としていただきたいと思います。

十勝支部では来年も同様に開催する予定です。

恵庭支部

クリーンウォーキング2024

理事 若山 肇



恵庭市役所ボランティアサークル『シボラ』が主催するごみゼロの日(5月30日)クリーンウォーキングに、まち歩き清掃と建築士会のPRを目的に参加しました。21回目となる今年の参加者は、当日の一斉活動に2,000名以上、事前の活動も合わせると70を超える団体と約5,200名を超える参加者となりました。会場は、市内を4つのエリアに分け、恵庭支部は、工業団地を含む『恵庭テクノパーク』エリアでごみ拾いを開始しました。平日の日中にも関わらず集いし恵庭支部15名の勇志は、揃いのベストを纏い、他の追従を許さない猛烈な勢いで路上のごみを拾い進撃します。私も記録係としてデジカメ・火バサミ・ゴミ袋を小脇に抱え奮闘。とは言え、これまでの清掃活動の賜か、落ちていたゴミの量は思いのほか少なく、それぞれが手にしたゴミ袋には、空きがあります。多くの皆さんと協働することの大切さと、市民意識の高まりをゴミの少なさで感じました。



▲まち歩きクリーンウォーキング

解散後は焼き肉を食べながら反省会でした。

中標津支部

建築士の日記念事業(木製ベンチ製作・寄贈)
in 別海町(生涯学習センター「みなくる」)

事務局次長 村山 賢司



さて、今年もこの時期がやってきました。コロナ禍でも毎年製作・寄贈し続けており、中標津支部唯一の支部事業である「木製ベンチ製作・寄贈」を去る7月6日(土)に今年は別海町生涯学習センター「みなくる」にて開催しました。

当日は悪天候が予想されていましたが、支部会員の気合で雨は降らず、例年通り屋外で無事作業し、あっという間にベンチ製作完了・寄贈へとその任務を終えました。ちなみにこの事業は、中標津支部4町(別海・中標津・標津・羅臼)を毎年巡回するイベントとなっており、今年で12年目を迎えました。ということは…来年から4周目に突入ですね(笑)これから先は一体何周出来るかな? 乞うご期待!!



みなさん手慣れたもんですね?



凛々しい4台の精鋭たち(笑)



無事完成! 全員集合!!

函館支部

ワインと地酒の夕べ

理事（総務委員長） 中澤 篤



7月4日(木)函館市地域交流まちづくりセンターにおいて「ワインと地酒の夕べ」を開催しました。参加者は、会員を中心に約200名でした。

昨年、コロナ禍が落ち着きビアパーティに替わる交流事業として開催することになりました。会場は函館のまちづくり活動の拠点となっている歴史的建造物の「旧丸井井井デパート」の2階を貸し切り、約20種類の「有名ワイン」、日本酒「郷宝」「五稜」、そして今回は「生ビール」も追加、軽食とおつまみ付きで北海道大学水産学部交響楽団メンバーによる演奏をバックに交流を深めることができました。また、賛助会から協賛していただいた景品で「お楽しみ抽選会」も大人気で会場を盛り上げていただきました。

支部としては、財政再建のためにも以前のように700名規模のビアパーティ開催の模索をつづけ会員のみならず市民参加交流事業として「建築士の日」をアピールできる日が早く訪れることを願っています。



会場の様子

旭川支部

今年の建築士の日事業

事務局長 宮原 進

建築士の日に合わせた恒例のチャリティービールパーティーが今年も300名を超える方々に参加を頂き盛大に開催され、益金の一部を旭山もっと夢基金に寄贈させて頂きました。

加えて令和3年以來の旭川建築士賞の授賞式も開催する事が出来ました。

この賞は旭川支部独自のもので良好な都市環境づくりや人にやさしい住環境づくりなどをおして、北国の快適で豊かなまちづくりに寄与し、社会貢献等の高揚を図ることを目的に平成2年に創設されたもので今年が32回目となり昨年北海道赤レンガ建築賞奨励賞を受賞されたトピカ代表の竹内隆介様に贈呈をさせて頂きました。

竹内様には今後益々のご活躍を祈念いたします。



建築士賞受賞記念撮影



チャリティービールパーティー風景

網走支部

「建築士の日記念事業」報告

支部長 山崎 聡



網走支部長の山崎です。7月6日に行いました『建築士の日記念事業』の報告をさせて頂きます。

午前中には小学生を対象とした『親子で巣箱作り』を実施し、13組の親子に参加を頂きました。女の子の参加者が多く、戸惑いながらも支部会員のサポートにより1時間程で作成できました。未来の建築士となってくれる事を願ってしまいます。

午後からは、市内の老人施設への音楽慰問です。平成17年からの事業で、今回で17年目となり、訪問先は16施設、訪問回数は46回となりました。

夕方6時からは、『令和6年能登半島地震災害チャリティービールパーティー』の開催です。音楽慰問をお願いしてきた、札幌在住の歌手、水木ジュンさんの演奏と唄で和やかな雰囲気の中スタートです。

お酒で会場はガヤガヤと盛り上がる中、私の開催挨拶の後、水谷市長へ義援金目録の贈呈です。パーティーの益金と会場での義援金の総額124,401円を贈りました。

会場はガヤガヤ、ムシムシと暑いなか、青年部が主体となつての抽選会。今回は景品の種類・数も多く、皆さんには喜んで頂けたと思います。

5年ぶりの開催に加え、支部長となり最初のビールパーティーの為、戸惑いもありましたが、酔った勢いで、なんとか長い一日を終える事ができました。

宗谷支部

北門神社御輿渡御

青年部長 松本 孝幸



私共、宗谷支部のメンバーは毎年建築士の日事業として『北門神社例大祭』に参加しております。

市内10数キロの距離を、当日参加してくれたメンバー11人と他の40団体が参加し、総勢320人と一緒に力を合わせ「ワッショイ！ワッショイ！」という威勢の良い掛け声を掛けながら練り歩きました。

当日は朝5時に起床。6時に集合場所に集まり『建築士会宗谷支部』の名入り法被をはおり、そこで景気付けにビールを飲み回し、7時に神社にて御神輿の担ぎ棒に晒しを巻くなどのセッティングをし、9時から16時まで市内を練り歩きました。最後には神社の80段の石段を御神輿を担ぎながら駆け上がるという、仕事をしているほうが体が安まるという過酷な一日に付き合ってくれたメンバーには感謝の言葉しかありません。お疲れさまでした！そして本当にありがとうございました。

この事業は私が建築士会に入会するかなり前から伝統的に行っている事業なので、これからも私の後の世代の方には続けて参加してくれることを願っております。最北の遅くて短い夏を彩った事業として、多くの市民そして観光にいらして下さった皆様の目を引く活動だったということを付け加えて事業報告と致します。

北海道建築士会 会員作品紹介 2024

本誌及びホームページにて募集した会員の皆さんの作品をご紹介します。13回目となる今年は、2作品が集まりました。当会の目的でもある建築士の品位の保持及び技術の向上並びにその業務の進捗改善を図り、広く社会公共の福祉増進と併せて北方建築文化の発展に寄与するための一助となることを祈念し、今後もこの取り組みを継続していきたいと考えておりますので、みなさんからのたくさんの応募をよろしくお願いします。なお、応募作品はホームページにも掲載していますのであわせてご覧ください。

広い書庫のある家

〔設計〕

佐藤 栄司

／ミサワホーム北海道 株式会社（札幌支部）

書庫



LDK



外観



【コンセプト】

いかに大量の書籍を収納しかつ癒される空間の書庫がある家を限られた敷地で設計する必要があった。その為居住部分は1・2階に計画し、書庫を3階全部にする案となった。書籍の長期保存の為開口部は必要最小限にして、機械換気等による室内の空気環境を制御する事とした。また大量の書籍の収納もあるため耐震等級にこだわり耐震等級3が取れる設計とした。そのため構造の要となる十字の壁を中央に設置し空間のアクセントとしつつ強度も確保しつつ広いスペースも確保した設計となった。

【所在地】 恵庭市 【建築用途】 住宅 【建築年】 2023.12

【工事施工者】 ミサワホーム北海道株式会社

『FB-4』りしん会整形外科病院

〔設計〕

中井 寿也

／一級建築士事務所 アトリエTARÔ（札幌支部）

外観



外観



内観



【コンセプト】

このプロジェクトは、市内系列クリニックのセンター施設を担う、より幅広く地域に貢献できる病院の新築計画である。特徴は、1階は外来で、効率良く行えるように患者と医療者の動線を短くするように計画、2階にスポーツジムを思わせる空間で、一般的なりハビリ施設とスポーツジム施設を合わせ持っており、眺望が良い空間で患者が治療を受けることが出来る事です。3・4階の入院施設は、コロナ等の感染対策で全室個室に計画しました。設備では、手術室に最新式医療機器と換気システムを導入したところです。

外観デザインは、シンプルな白い箱にダイナミックなカーテンウォールを施した。玄関アプローチにはポイントカラーとして青のタイルを施し、白、ガラス色、青の三色が特徴となった。最新システムと感染対策が施されたハイオリティな病院にすることにより、地域に貢献し患者がどんどん元気になることを期待する。

【所在地】 札幌市豊平区

【建築用途】 病院（整形外科）

【建築年】 2024.02

【工事施工者】 株式会社田中組

一級建築士になるまでの道のり

谷 拓実 (札幌支部)



北海道建築士会会員の皆様、いつもお世話になっております。札幌支部の谷 拓実と申します。札幌の設計事務所では北海道建築設計監理株式会社に勤めております。この度は北海道建築士会より御依頼頂きましたので、大変恐縮ではありますが寄稿させていただきます。

まず最初に資格取得までの経緯を話させていただきます。学校を卒業し、現在の会社に就職してすぐ総合資格から連絡があり、一級建築士の受験資格が緩和されたことを聞きました。当時は二級建築士の勉強をしていたのですが、製図試験で苦戦しており、資格学校の通学も視野に入れておりました。二級をやめて一級の勉強にシフトするかどうか悩みましたが、将来的に一級建築士の資格は絶対に欲しかったので資格学校に行く事を決めました。

学科試験について、二級の学科には受かっていた為、勉強もスムーズに進むかと思っておりましたが、その考えが甘かったとすぐ痛感することになりました。各教科で覚える事も膨大なうえ、実務の知識も不足しておりテキストに記載のある単語や工法についてのイメージがつかず理解するのに凄く時間がかかってしまいました。本番直前は緊張もしましたが、何とか合格することが出来ました。

学科試験合格の喜びも早々に製図試験の勉強がスタートし、新たな困難に直面することになりました。二級建築士でも製図試験で苦戦していた為、学科試験以上に自信は無かったのですが、それもあってか勉強にも身が入りました。作図スピードに関しては、二級建築士の経験が生き、早い段階で時間内に作図出来るようになりましたが、学科試験での知識の応用や図示な

ど練習することが色々あり学科試験と同等かそれ以上の勉強時間が必要でした。さらに製図試験では図面の正確性が求められる為、設計内容や条件等をすべてクリア出来ても、細かい表現や凡例の書き漏れがあると重大な減点や最悪の場合、一発で不合格になるような厳しい試験なので、本番でそのようなミスをしないうちに日頃から意識しなければなりません。製図試験は学科と比べて勉強を始めてから本番まで3か月弱しかないので、時間があつという間に過ぎ、試験当日となりました。時間内に作図が終わり見直しの時間も確保できたのですが、気になるところもあり合格発表までは安心できませんでした。

製図試験の合格発表は12月末だったのですが、その数日前にコロナに感染してしまいました。その為、合格発表当日も寝込んでおり、建築技術教育普及センターのHPを確認できずにいました。そんな中、母から電話があり合格してたよ！と聞きました。当初は複雑な気持ちでしたが、症状が落ち着くにつれ徐々に喜びの気持ちが込み上げてきたのを覚えています。

試験期間中は仕事が終わった後や休日は勉強漬けで辛い日々が続きましたが、それもあってか自分の人生で一番の達成感をられました。

一級建築士に合格したことを会社の上司や同僚の方々に報告した時は皆さんに喜んで頂いて、会社の一員として少しだけ認められた気がしました。

資格を取ったことで自分の人生の目標の一つ達成できましたが、これからも勉強を怠らず一級建築士として恥ずかしくないよう日々の業務をこなしていきたいと思っています。私は建築士会のイベント等にも参加しており、皆様とお会いする機会もあるかもしれないので、その時は是非ともよろしくお願いいたします。長文になりましたが最後までご覧いただきありがとうございます。

プラス思考

沼田 亮 (札幌支部)



この度、合格者の声ということでお話をいただき有り難うございます。折角の機会なので拙い文章で恐縮ですが寄稿させていただきます。

まず、最初に家族・会社・資格学校・建築士会の皆様方へ改めて、この場をお借りし合格の報告とお礼を申し上げさせていただきます。

試験までの期間を振り返ると建築士会の活動は気分転換と良いプレッシャーがもらえると思え、可能な限りイベントに参加するようにしました。全道大会北空知大会に参加した時は沼田町の生涯学習センター「ゆめくる」に訪れ、図書館のレイアウト見たり、併設された「雪の科学館」には雪が貯蔵されていて建物の冷房に活用する雪冷房システムを見たりと、実際に見て・学ぶことは大きな知識になったと思います。その夜は宿泊しましたが試験直前でしたので朝早く起きてホテルのロビーで作図の練習をしていました。帰りの車中で青年委員会の仲間から「作図してたね」と言われ、何故か急に恥ずかしくなった思い出があります。

試験までの道のりは順調に進んでいたわけではなく、なかなか合格ラインに達する作図が出来ず、カド番だったこともあり、『今年の受験はやめよう』と不貞腐れていた時期もありました。そんな私の態度を察して資格学校の先生がアドバイスをくれ、クラスメイトが鼓舞激励してくれたおかげで気持ちを切り替えることがで

きました。

試験当日、会場の席に着いた途端、また『もう後がない』という追い詰められた負の緊張が襲ってきました。そこで私は勝手に『建築士会として受験するのだから恥ずかしい真似はできないぞ！』と思い、『会場のどこかで建築士会の誰かが絶対見ているはずだ』と想像することで平常心を取り戻せたと思います。試験が始まり、残り1時間というところで斜線制限に引っかかっていることに気がつきました。イヤ～な汗を大量にかきながら諦めずに時間いっぱいまで消しゴムを落としたり定規が割れたりとドタバタしながら描き直して試験は終了しました。

発表当日、合格者は午前中に資格学校から連絡がくると思っていたので待つことにしました。お昼直前にやっと電話が鳴り小さくガッツポーズ。

月並みですがこの一級建築士という壁は自分一人では乗り越えられませんでした。たくさんの人の支えがあって合格できたと実感しています。

今年で私は40代半ばを向かえ年齢的には若手でもなく、ベテランでもない中間の位置にいます。だからこそ若手とベテランのパイプ役となり、自分自身もわからないことは素直にわからないと教を乞い、共に学び、建築士としての質を高めていきたいと思っています。

最後にこれから受験する方へ合格する秘訣を伝えるとしたら【人といっぱい話すこと】と言いたいです。(でも、資格学校の交換添削で、若い子に『ハイっ！！ランク4お～ん』って返却されたときは悔しくて、しばらく口を聞かなかったっすね)

ご一読いただきありがとうございます。



津 山 浩（日高支部）

～ライディングヒルズ静内～

今回は、全道大会も開催されます当町のライディングヒルズ静内をご紹介します。設置の経緯としては、馬の町と言われた当時の静内町において、放牧されている馬を日常目に見ているのですが、競走馬という高価な商品であり、近づいて馬を驚かせ怪我をさせたら賠償問題になるため、近づくなと教えられていました。

馬に乗ることは勿論、触ったこともない人がほとんどでした。まさに馬は近くにいて遠い存在だったのです。このような中、軽種馬生産者などから町で乗馬施設を整備してほしいという声があがり、検討を重ねた結果、観光施設としてではなく、馬を介した人づくりの施設として教育委員会所管の施設として平成13年10月に開設するに至りました。

建設費は約4億5千万円（内1億500万円JRAからの補助金）。運営費は約2千3百円（人件費含まず）（令和5年決算額にて）となっております。



空からのライディングヒルズ

令和5年度の施設利用者数は11,132人となり、前年度よりも約千人の増加となりました。この町の主たる産業である馬に触れ合う貴重な体験ができる施設として機能しており。小学生には『馬のことを知る』『馬ふれあい』『馬に乗ること』『馬の仕事体験』を大事にし、馬に関する体験や学びを重ねながら、ふるさとへの愛着と誇りを育む授業を行っ



馬と戯れる小学生

ております。

施設長を含め10名で運営を行っており、又ライディングヒルズサポーターとして約20名が職員だけではできないお仕事を手伝ってもらい、地域一体となってサポートする体制となっております。

町の人材不足（担い手、働き手）が課題となる中で、馬が好きで移住や道内、道外から通われて日高地域へ訪れる方々の目的地として利用されているライディングヒルズ静内を通し、町の魅力を発信することで交流人口が増えており、いい傾向が見られます。

町内の牧場経営の後継者（子供たち）。牧場での就労前、馬になれるために騎乗やお世話体験をする場。職場の仲間で乗馬レッスンを受けて、馬が話題のコミュニケーションの一つとなっております。

ぜひ馬が好きな方、乗馬が好きな方は、一度足を運んでみてはいかがでしょうか？『ライディングヒルズ静内』と検索されますと、新ひだか町のホームページに詳細が書いてありますし、Facebookでは牧場の日常の風景も紹介しております。

最後になりますが、ライディングヒルズ静内で頑張っておりますお馬さんたちのお名前を紹介して終わりとさせていただきます。

	馬 名	齢	品 種	毛 色	主な仕事
1	レオプラズマ	19	サラブレッド	芦毛	乗馬レッスン、乗馬教室
2	ナスノロアール	17	サラブレッド	青鹿毛	乗馬レッスン、乗馬教室
3	アトランティスZ	20	ザンガーシャイド	黒鹿毛	乗馬レッスン、乗馬教室
4	ヴァンデグロブ	21	サラブレッド	栗毛	乗馬レッスン、乗馬教室
5	ブレーヴチェイサー	10	サラブレッド	鹿毛	乗馬レッスン、乗馬教室
6	アルファオリオン	21	サラブレッド	鹿毛	乗馬レッスン、乗馬教室
7	ハナコ	15	日本ポニー種	栗柏毛	体験乗馬、障がい者乗馬、トレーニング
8	ビワハヤヒコ	24	半血種	月毛	体験乗馬、子供レッスン
9	セー郎	25	半血種	鹿柏駁毛	馬車、体験乗馬、子供レッスン
10	グーフィー	23	和種重種中間種	青柏毛	体験乗馬、障がい者乗馬、トレーニング
11	ソイ	7	日本乗系種	栗毛	乗馬レッスン、乗馬教室
12	ブラックキャビア	14	日本ポニー種	黒毛	体験乗馬
13	チョコタン	26	日本ポニー種	鹿毛	体験乗馬、子供レッスン
14	メジロゴゼン	16	サラブレッド	鹿毛	競馬馬、乗馬レッスン、乗馬教室

お馬の名前の一覧

北広島支部 北広島支部の動き

支部長
関川 修司



道内最弱小の支部である。会員が少なく、事業も少ない。しかし、嬉しいことに今回は事業があった。札幌支部の応援で、恵庭市と北広島市の島松に遺る古建築とその利用、そして北広島市の伸張と

縮小の北広島団地、新規成長のエスコンのバス見学会があった。加えて、ガイドに会員が付いて呉れた。7月6日(土) JR恵庭駅西口集合。まずは恵庭市のカリンバ遺跡。昭和50何年だったか、道教委考古学担当の方々と遺跡発掘現場にきたことがある。引き続き恵庭市島松の文化の殿堂夢想館、レスリング、ジャズなどを開いている。

ここから沢を越えると北広島島松、島松軟石の採掘跡、軟石の建築物を見て、国史跡旧島松駅通所、ここには力が入る、道史跡から国史跡に努力したのが私と時の学芸員だから。北広島団地内の知新の駅を見学して終点のエスコン見学。次の支部活動を発表出来るのは何時だろう。



元農協倉庫・島松 夢想館



国史跡旧島松駅通所



エスコン内で今回のバスツアー参加の皆さん

十勝支部 木造建築に特化した構造勉強会の開催

スキルアップ事業委員長
竹川 信一



今年度よりスキルアップ事業委員長として活動しております竹川でございます。2024年1月1日に発生した能登半島地震では特に建築年代が古い木造建築が倒壊又は大きな破損を受け甚大な被害が多く報告され、今現在でも復旧が追いつかない地域では日々の生活に困窮された状況が続いており、今後早期の復旧を願うところでございます。又断層が多い日本では南海トラフ地震発生の恐れについても事前の準備と対策が非常に重要視されていることと思います。そのような中、建築確認において従来の4号特例が新2号、3号へ2025年4月着工分より適用されることから十勝支部では、建築技術者を対象に勉強会を企画しました。講師は当会員でもある2名の構造設計者から木造に特化した対

面方式の講習会とし構造における荷重の考え方から簡単な計算までを目標に掲げ質疑応答を交えながら5月より10月まで毎月1回合計6回に渡り現在開催中でございます。参加者は設計事務所、工務店、住宅関連企業、ゼネコン等多くの技術者が参加しております。当初20名の募集定員を予定しておりましたが最終的に40名の申し込みにて開催を行っており、このことから参加者の関心度の高さが伺える勉強会となっております。建築構造は計算が主体となることから専門性が高く建築士においても苦手意識が強い分野かと思いますが本講習では毎回講師より資料を作成いただき実践形式の簡単な計算問題を解き答え合わせまでを行う、分かりやすく丁寧な説明を行っていただいております。講習内容は参加者が日頃携わることが多い在来工法・枠組工法に絞り込み荷重の種類、荷重の計算手法を

学び最終目標として許容応力度計算までを行うメニューで進めております。このことで今まで多くの参加者が触れることが少なかった領域まで踏み込み理解した上実務へ反映することで設計・施工を行う建築士、施工事業者が建築主へ安全安心を提供する一助になればと願っております。又、建築士の日にあたる7月1日は誕生花の一つとしてヒメユリがあり、その花言葉は「誇り」といわれております。スキルアップ講習会の成果として建築士としての使命、誇りを改めて見つめ直す機会になればと切に思っております。



第1回 勉強会の様子

道士会の動き

本部の主な会議報告（8月）

- ◆第2回事業委員会（web）
（開催日）3日（土）
 - 1) 令和6年「特別活動費」助成事業の選考
 - 2) 「既存住宅状況調査技術者講習」
 - 3) 建築士がマンションの未来を変える大規模修繕「修繕の心得」講習会
 - 4) 実務者のための工事監理ガイドラインの手引き（戸建木造編・非木造建築物編）講習会の開催
 - 5) 今期開催した講習会の来期の開催
- ◆第3回女性委員会小委員会（web）
（開催日）6日（火）
 - 1) 全道大会（ひだカフェ）
 - 2) 集い（参加者・集合場所等の確認）
 - 3) 委員による仕事・趣味 紹介
- ◆第5回BIM推進特別委員会（web）
（開催日）7日（水）
 - 1) 各事業の進捗
 - 2) 北海道建築士会HP内のBIM推進委員会のページ
 - 3) 委員会内勉強会BIM図面審査ガイドラインと入出力基準・設計者チェックリスト
- ◆第2回情報委員会（web）
（開催日）10日（土）
 - 1) 会誌「北海道建築士」
 - 2) 全道大会（日高大会）
- ◆第4回総務・企画委員会（書面開催）
（開催日）19日（月）
 - 1) 令和6年第4回理事会議案
- ◆四役会議（web）
（開催日）23日（金）
 - 1) 令和6年第4回理事会議案
- ◆まちづくり委員会WEB会議-3
（開催日）26日（月）
 - 1) 全道大会 ひだカフェ
 - 2) 来年度事業の検討
- ◆第4回理事会
（開催日）30日（金）
 - 1) 令和6年一般会計予算の流用
 - 2) 令和6年一般会計事業報告書及び収支状況報告（6月末）
 - 3) 令和6年特別会計事業報告書及び収支状況報告（6月末）
 - 4) 「（一社）北海道建築士会特別活動費」の令和6年助成対象事業及び助成金の額の決定（案）
 - 5) 「（一社）北海道建築士会特別活動費」今後の運用
 - 6) 「（一社）北海道建築士会第47回全道大会（中標津大会）」
 - 7) 定款第6条に基づく会員の入会承認（案）
 - 8) 令和6年一般会計事業計画及び予算編成
 - 9) 「（一社）北海道建築士会会費改正」

本部の主な行事予定（9月）

- 7日（土） 第3回女性委員会
- 15日（日） 二級建築士（設計製図）試験
- 28日（土） 第46回全道大会（日高大会）

編集後記

第46回全道大会（日高大会）が9月28日に開催されます。前回まではA～C分科会が行われてきましたが、本大会では自由な対話でより多くの意見、知識を集めるため、ひだカフェ（ワールドカフェ）形式による全体参加型、気軽に参加し易いようです。多数の参加で盛り上がることを期待しております！また同時並行にて元気発信ブース、応急危険度判定・ミニ机上訓練も開催されます。此方も是非参加お待ちしております。

今月号の建築士合格者の声では多分？皆様の時と同じく、ハラハラドキドキな感じが伝わってくる内容でございます。西から東からでは本大会地である馬産地静内の実情報が詳しくあり、興味のある方は是非この機会に乗馬体験もよろしいのではないのでしょうか？ 情報委員会 委員長 前田 繁（釧路支部）

講習会・セミナーのご案内（9月）

監理技術者講習

18日（水） 札幌市

CPD認定プログラム（8月認定）

- ◆第46回（一社）北海道建築士会全道大会基調講演
《日程及び会場》9月28日（土）16：30～17：30
新ひだか町静内公民館コミュニティセンター
《単位数》1単位
- ◆（一社）北海道建築士会震災建築物
応急危険度判定ミニペーパー机上訓練
《日程及び会場》9月28日（土）随時
新ひだか町静内公民館コミュニティセンター
《単位数》1単位
- ◆女性建築士の集い
～北海道遺産「江別のレンガ」をめぐる～
《日程及び会場》9月7日（土）10：30～16：00
北海道博物館 他
《単位数》3単位
- ◆do BIM Season8 3rd（オンライン）
《日程》10月22日（火）18：30～20：00
《単位数》2単位
《上記問合せ先》（一社）北海道建築士会 TEL 011-251-6076
- ◆令和7年4月施行 改正建築物省エネ法
・建築基準法等に関する勉強会
《日程及び会場》9月18日（水）苫小牧市役所職員会館
9月19日（木）胆振総合振興局
9月25日（水）白老町コミュニティセンター
いずれも14：00～16：00
《単位数》2単位
《上記問合せ先》苫小牧会場 （一社）北海道建築士会苫小牧支部
TEL 0144-84-1366
室蘭会場 （一社）北海道建築士会室蘭支部
TEL 0143-84-1733
白老会場 白老町建設課建築指導グループ
TEL 0144-82-4215
- ◆第12回まちづくりメイヤーズフォーラム
「再生エネルギーを活用したまちづくり」
《日程及び会場》10月30日（水）14：00～17：00
札幌ビューホテル大通公園/オンライン併用
《単位数》3単位
《上記問合せ先》北海道建設部建設政策課 TEL 011-231-4111
（内線29-671）

“会員専用ページ”でオンデマンド配信中！



- 視聴方法：北海道建築士会HPの上記「会員専用ページ」をクリックしパスワードを入力
- 9月パスワード：Yoi047

情報委員会委員長／前田 繁
副委員長／村山 賢司・立花智亜喜
委員／岩浪 治郎・角張 隆昌
津山 浩・奈良岡 修

北海道建築士 No.325号

印刷 令和6年8月／発行 令和6年9月

編集・発行 一般社団法人 北海道建築士会
〒060-0042 札幌市中央区大通西5丁目11番地
大五ビル
電話 (011) 251-6076番
URL <https://www.h-ab.com/>

印刷 株式会社 正文舎
〒003-0802 札幌市白石区菊水2条1丁目
電話 (011) 811-7151番